

環境共生地域学特論Ⅰ（2単位）

担当者氏名 上岡洋晴

◆学習・教育目標

環境と共生するために、あるいは地域社会で健康で生活し続ける上で重要な疾病予防を考える。その際に、不可欠なのが疫学・臨床研である。疫学・臨床研究は、国際的に学問体系が構築・統一化されているので、それを足がかりとして人の環境共生のための健康問題を考える。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

介入研究 観察研究 臨床試験 因果関係
誤差 疫学指標 スクリーニング

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	環境共生地域学としての疫学（第1週）	健康課題の把握と定義	本講義のねらいは、地域社会における様々な健康問題を解決するための基礎知識として、疫学・臨床研究の基本を学ぶ。時事的な健康問題も取り上げて、より社会と密着した学問分野であることを確認する。
2	介入（臨床）研究と観察研究（第2-6週）	研究デザインとその特性	
3	因果関係（第7週）	因果関係の正しい導き方	
4	誤差（第8週）	各種のバイアス	
5	疫学指標（第9-12週）	基本的な数値の理解	
6	スクリーニング（第13-14週）	スクリーニングの特性と評価方法	
7	総括（第15週）	まとめ	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）
疫学／日本疫学会編／南江堂／2004

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）
講義の間に紹介する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

課題レポートとプレゼンテーションにより総合的に評価する。

◆その他受講上の注意事項